

らいとぴあ21
連続講座企画

知っておきたい ～大阪人の政治と行政のイロハ～

大阪に住む、大阪を愛する、大阪をもっと知りたい――

そんな全てのみなさんにお届けする、

大阪人による(ほぼ)大阪人のための“大阪人の政治と行政のイロハ”！

ニュースで気になってたあの言葉って結局なんなん？

政治って知らんくとも関係ないんちゃう?

大阪の政治と行政に精通したコーディネーターと

各回異なるスペシャルゲストが、

そんなハテナマークを新鮮かつ柔らかく、

時にはスパイシーにアレンジしてお届けします。



①	5/22(木)	大阪人の政治と行政のイロハ
②	6/5(木)	“大阪都構想”って何がいいの？だめなの？ 『大阪都構想と大都市制度の行方』
③	6/12(木)	勉強できない or できるは自己責任?! 『貧困の連鎖と教育格差』
④	7/3(木)	地域医療最前線 ～国の医療ビジョンを考える～
⑤	7/17(木)	『生活困窮者支援と地域福祉のあり方』 パートⅠ
⑥	7/31(木)	『生活困窮者支援と地域福祉のあり方』 パートⅡ
⑦	8/21(木)	修了ディスカッション&ワーク



① ⑦ コーディネーター



② ゲスト



③ ゲスト
西脇邦雄さん
大阪経済法科大客員教授
[行政学]



④ ゲスト
梅村聰さん
元厚生労働大臣政務官



⑤ ゲスト
岩間伸之さん
大阪市立大学教授 [社会福祉学]

- 期間：5月22日、6月5日、6月12日、7月3日、7月17日、7月31日、8月21日（全て木曜日 19:00～20:30）
- 場所：らいとぴあ21（箕面市萱野1-19-4） ●定員：30名
- 申込み：5月15日まで らいとぴあ21にて（定員になり次第〆切） ●対象：興味のある方ならどなたでも
- 受講料：全7回通しで2,000円（ただし各回の参加の場合500円）



—実は新聞も読んでない…こっそり後ろめたいそこのあなた。

—仕事で政治のこと、ほんまはちょっと知つておいた方がいいんやけど…

というあなた。大阪の政治を肴に語れる、泣ける、笑える大阪人になってみませんか。全7回のフレッシュメニューをご用意してお待ちしております。



各回内容

① 5/22(木) コーディネーター 西脇邦雄さん
大阪経済法科大客員教授

大阪人の政治と行政のイロハ

初めての方も安心。地方分権の入門から大阪における政治&行政の、今の問題点や現状をわかりやすくレクチャー。第2回で明らかになる大阪都構想が、出て来た背景についても解説。

② 6/5(木) 北村亘さん
大阪大学教授〔行政学〕

“大阪都構想”って何がいいの？だめなの？

『大阪都構想と大都市制度の行方』

ニュースなどでよく聞く“大阪都構想”を、これまでの議論の経過や私たちの生活への影響など、いろんな視点で読み解きます。

③ 6/12(木) 成山治彦さん
(公財)大阪人権博物館理事長

勉強できない or できるは自己責任？！

『貧困の連鎖と教育格差』

教育の格差の現状をきっちりとらえ、貧困連鎖を断ち切るために必要なことは何かという観点から、教育の在り方について議論します。特に、高校中退など既存の学校教育からドロップアウトした若者らの再チャレンジをバックアップする、具体的な施策・実践例の紹介を交えながら。

④ 7/3(木) 梅村聰さん
元厚生労働大臣政務官

『地域医療最前線』

～国の医療ビジョンを考える～

普段よく利用している医療保険や病院も、国の医療政策が変わるとたびに状況が大きく左右される。国の医療ビジョンをふまえて、生命と健康に直結している救急医療・地域医療や、皆保険制度のあるべき姿を議論する。

⑤ 7/17(木) 岩間伸之さん
大阪市立大学教授〔社会福祉学〕

これからの時代に知っておきたい必須科目 パートⅠ 『生活困窮者支援と地域福祉のあり方』

2015年度から施行される「生活困窮者自立支援法」。ほとんど知られていないその内容と、法律ができるまでの流れや目的、問題点を整理して見てみる。

⑥ 7/31(木) 大阪府社福祉協議会ケースワーカーなど現場職員

これからの時代に知っておきたい必須科目 パートⅡ 『生活困窮者支援と地域福祉のあり方』

昨年度から実施している生活困窮者自立支援モデル事業の中間報告とともに、日々動いている現場—ケースワーカーの実情を知り、これからの地域福祉のあり方を考える。

⑦ 8/21(木) コーディネーター 西脇邦雄さん
大阪経済法科大客員教授

修了ディスカッション＆ワーク



お問い合わせ・申し込み

072-722-7400

らいとぴあ21 ブログ
<http://raipinews.seesaa.net/>